

子育て INFORMATION 3

港区立赤坂子ども中高生プラザ プラザ赤坂なんで〜も

～挑戦する児童館～

吉原館長

港区立赤坂子ども中高生プラザ 吉原館長

子ども中高生プラザは、通常、祝日を除き、朝9時半から夜8時まで開館。学校の休みの場合は、学童クラブなど一部の児童を朝8時半から受け入れています。現在、1日平均200人が利用していますが、土地柄、大使館などの外国の方の利用が多く、アメリカ・ロシア・韓国など国際色豊かで、知らず知らずのうちに国際感覚が培われます。

子ども中高生プラザということで、乳幼児から高校生までが対象ですが、地域コミュニティの場として、陶芸などの保護者向けプログラムも開催しています。また、管理者が同じということと、同敷地内にある高齢者施設「サン・サン赤坂」の利用者の方々との交流も

行っています。まさしく0歳から100歳まで幅広い年代の方の交流の場となっており、核家族化が進む現在、良い体験になります。他に、施設外に飛び出しているプログラムもあります。

毎月1回、乳幼児用・小学生用・中高生用と3枚の「なんで〜もステーション」を発行し、イベント情報などを公開しています。

一方、併設されている学童クラブ(1年～3年)は定員80名。専用の部屋があり現在61名が登録しています。驚いたのは赤坂小学校以外の子どもたちも受け入れており、夕方5時と5時45分の2回、職員が赤坂小学校まで送っています。

取材後、「児童館」という概念が一変しました。20代から30代の保育士・教員の資格を持つ職員が19名、子どもたち、地域のために奮闘、挑戦する児童館でした。

港区立赤坂子ども中高生プラザ「プラザ赤坂なんで〜も」 赤坂6-6-14 TEL 03-5561-7830 HP <http://www.seirouin.or.jp/nandemo/>

まずは気軽に立ち寄ってみてください

赤坂地区高齢者相談センター (北青山地域包括支援センター)

今から「つながり」をもつことと「予防」をすることが何よりも大切！

高齢者お役立ち情報 3

高齢化が進む社会はメディアでもよく取り上げられていますが、実際自分の家族が、または自分がその過程にきた時にどうすればよいのか、どのタイミングで何を準備すべきなのか、わからない方が多いのでは

ないでしょうか。すでに介護されている家族の方は情報収集に努めておられると思いますが、そのような方々のサポートも含め、赤坂地区高齢者相談センター(北青山地域包括支援センター)では様々なサビ、情報、講座を提供しています。今回はセンターの坂寄施設長と社会福祉士の宮本さんにお話をうかがいました。

センターの4原則とは？

①さまざまな相談に対応する：各種機関へつなげて的確な処置をとる体制が整っています。

②権利を守る：消費者被害や高齢者虐待の防止など権利保護の相談も受け付けます。

③暮らしやすい地域を目指す：センターが持つネットワークで様々な情報や支援提供が可能です。

④介護・健康のアドバイスをする：要支援1・2を認定された方の介護予防サービス計画を作成します。

絆の会

赤坂地区高齢者相談センター(北青山地域包括支援センター) 北青山11-6-1 TEL 03-5410-3415 (24時間体制) ●開館時間は毎日朝9時、月～土は夜7時、日・祝日は夕方5時に閉館。

外国人から見た赤坂・青山 第3回

赤坂警察署からのお知らせ

電車の中にカバンを忘れた。中に会社の小切手(通帳)が入っていた。お金を立て替えて欲しい。後で必ず返すから。

その振り込み、ちょっと待った！

会社の金で株を買ったことがりした。今日中に返せば、クビにならないで済む。すぐお金を用意できないか。

役所の者ですが、医療費・税金・保険の還付金があります。すぐATMに行って手続きをしてください。

人妻を妊娠させた。相手の旦那が怒っている。今日中に示談金を用意して欲しい。

犯人は様々な手口で騙しの電話をかけてきます。

●知らない番号から電話がかかってくる

●会話の中にお金についての話題が出てくる

●口座番号や携帯番号などの個人情報を知りてくる

などの不審な電話があれば、必ず元の番号にかけ直して、相手を確認しましょう！

今すぐできる振り込み詐欺対策！

★在家中に留守番電話に設定して、相手を確認する…犯人は自分の声が録音されるのを嫌がります。

★ハローページからの掲載を削除する…犯人の多くが、ハローページの掲載情報から電話をかけています。掲載の必要が無い方は、116番に電話をすれば削除手続きできます。

★家族でよくコミュニケーションを取る…家族で日頃から会話を交わすこと、これが一番の対策です。振り込み詐欺を話題にして、よく話し合い、家族の絆を深めましょう。

●お問い合わせ／赤坂警察署 電話：03-3475-0110(内線2612)

外国人から見た赤坂・青山 第3回

青山国際教育学院で日本語を学んでいる、タイのカンチャナブリー県出身の男性、アムナート・アンウィーラさん(37歳)に今回インタビューさせていただきました。アムナートさんは学校以外でも赤坂・青山地域にはよく出かけるそうです。

アムナートさん

奈良へ旅行した時のアムナートさん

Q1：来日のきっかけは？

「私は子どもの頃から『ドラえもん』など日本の漫画やアニメが好きでした。タイで大学卒業後、母国の日本企業に就職してから日本の文化に興味を持ち、日本語学校に通い始めました。さらに本格的に日本語を学ぶと決心して平成23年(2011)9月に来日しました。」

Q2：日本語がお上手ですが、どのくらい勉強されているのですか？

「タイで学び始めてから約7年間です。今ではだいたいの読み書きはできますが、もっと日本語に対する知識を深めて、自然な日本語をマスターしたいです。」

Q4：赤坂・青山の生活で魅力的な点があれば教えてください。

「この地域はとても交通の便がいいので助かります。家から学校まで徒歩で通っていますが、天気の悪い日は、港区のちいばすを利用して歩きます。読書が趣味なので、たくさんの種類の本が手ごろな値段で楽しめる古本屋によく行きます。」

Q5：日本の生活で不便な点があれば教えてください。

「ほとんどの病院やクリニックは日曜日や祝日がお休みなので、万が一のことがあったら困ります。あとこれは気候なのでです。冬はともかく、1年中暑いタイから来た私にとって日本の冬はとても寒く、服をたくさん着てもなかなか体が温まりません。今年はいつになつたら暖かくなるのでしょうか(笑)。」

Q7：赤坂・青山でお気に入りの場所はありますか？

「神宮外苑のいちよう並木が好きで、昨年はいちよう祭りにも行ってきました。日本は四季があるため、それぞれの季節での自然の移り変わりがとても綺麗です。」

Q8：日本で生活していつかおもしろいエピソードはありますか？

「ある時、カツ丼を頼み、七味唐辛子を表面が全て覆われるまでたっぷり振りかけたら、『そんなにかけたらお腹を痛めるよ。』と知り合いの日本人に言われました。けれど辛い食べ物に慣れた私にとっては全く辛くありませんでした。自炊する時はできるだけタイの味に近い食材を買い集めますが、残念ながら唐辛子だけではなかなか辛いのが手に入らないため、タイ料理独特の辛さを再現することができません。」

Q9：これからの目標はなにかありますか？

「今年帰国した後、日本とタイに関係する仕事を始めようとして計画しています。そのために日本にいる間はできるだけ日本語を上達させるため、学校以外でも、新聞を読んだり、テレビでドラマやニュースを見たりして日々訓練しています。」

●お問い合わせ／赤坂消防署 電話：03-3478-0119 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaki/>

青山霊園眺望 ～人と歴史～

第15回 森永太郎(もりなが たいちろう) (1865年～1937年) 1種イ6号2側3番

森永太郎 肖像画

「キャラメル王」と呼ばれた森永太郎の墓は、外人墓地の近くにあります。太郎は、佐賀県伊万里の素封家の出でありながら、幼いころに両親の庇護をなくし、苦労を重ねます。祖母をはじめ親戚の家を転々とし、12歳のころ叔父の山崎文左衛門に引き取られ、商売の手解きを受けることとなりました。その後、横浜の陶器貿易商で働き、24歳の時に、九谷焼販売のために最初の渡米。この時、太郎の生涯の基礎となる洋菓子とキリスト教に出会います。一旦帰国後、再渡米。人種差別の激しい時代、低賃金労働を真面目にこなし、やっとの思いでキャンディー工場での仕事を終えて、明治32年(1899)、赤坂溜池に森永西洋菓子製造所を創業。マシマロー(マシュマロ)等の販売を開始しますが、初めて見る外国の菓子を扱っている店はありません。

ん。太郎は、PRのため、ガラス張りの箱車に実物の菓子をディスプレイし、東京中を歩き、売り込み活動をし、徐々に受注を上げていきました。また、店頭に英字看板を掲げていたため、駐日米国公使バック夫人の目に留まり、これを機に、各国の大使夫人など上流階級にも受け入れられることとなります。森永商品の人気が高まるにつれ、類似品が出回るようになり、差別化のため森永製菓のシンボルであるエンゼルマークが登場しました。最初の商品であるマシマローがアメリカでは、エンゼル・フードと呼ばれていたことに由来します。初代のエンゼルが手にもっていたハンドルは、森永(M)太郎(T)のイニシャルを图案化したものです。その後も森永の代名詞となる「ミルクキャラメル」の保存性、携帯性に優れた箱入りタイプの開発や、日本で初めて原料のカカオ豆から一貫製造した板チョコ、ココアの発売など、様々な西洋菓子を次々日本に紹介していきます。

大正12年(1923)9月、関東大震災が発生。敬虔なクリスチャンである太郎は、ビスケットやミルクなどの自社製品はもちろん、配給米を購入して被災者へ配るなど、積極的に被災者の支援にあたりました。この博愛精神は今でも社員に浸透しています。昭和10年(1935)に社長を退任、その後は教会での講演に注力し、涙を流しながらアメリカ修業時代の苦労話を語ったとも言われています。

写真：森永製菓株式会社より提供

赤坂・青山子ども中高生共育事業からのお知らせ

私立小・中学校に在学中のお子さま・保護者の方へ

サントリーホールとの音楽プログラム

赤坂地区総合支所では、平成21年度から赤坂・青山地区の子育て環境を整備するため、地域の企業や団体と協働した赤坂・青山子ども中高生共育事業を実施しています。

今まで、東京ミッドタウンでの子どもだがしや出店、大使館訪問や外国人と触れ合う共育国際プログラム、サントリーホールとの音楽プログラムなど「驚き・感動・気づき」をテーマとした様々な講座を行ってきました。

この事業は、赤坂・青山地区に在住・在学のお子さまを対象としています。今まで公立校に在学している方にはチラシなどを配布して事業の周知を行ってきましたが、私立校の方に改めてお知らせいたします。

私立校に在学しているお子さまで、上記のような講座やイベントに興味のある方は、これらの講座やイベントの情報をご案内させていただきますので、下記HPアドレスのお問い合わせフォームまたは電話番号にご連絡ください。

●お問い合わせ／赤坂・青山共育情報局 <http://www.akasaka-aoyama-tomoiku.net/> 協働推進課地区政策担当 電話：03-5413-7013

赤坂地区総合支所からのお知らせ

赤坂・青山地区タウンミーティングメンバー募集

「未来に向け共存できるまち赤坂・青山」～コミュニケーションを育むまち～の実現に向けて、赤坂地区では、区民協働による赤坂・青山のまちづくりを目指して、一緒に考え、行動する区民参加組織「赤坂・青山地区タウンミーティング」を設置しています。平成25年度は4つの分科会メンバーを募集します。

●対象者 赤坂・青山地区に在住、在勤、在学者、または、赤坂・青山地区のために活動したい人

●募集する分科会

①地区版計画推進分科会

平成27年度からの次期港区基本計画・赤坂地区版計画の策定にあたり、地区の現状と課題、地区の計画・事業について議論し、区への提言をまとめます。

②赤坂青山歴史伝承塾

常に時代の先端のまちとして繁栄してきた赤坂・青山。地域の歴史を自ら学び、まちの記憶を次世代へ伝承するため、地域内外へ情報発信します。

③地域情報の発信・交流分科会

赤坂・青山の魅力を編集委員自ら取材・編集し、地域情報誌「MYタウン赤坂青山」を発行します。身近で魅力ある情報の発信を目指します。

④いきがいづくり推進分科会

地域の高齢者の交流の場である「赤坂・青山ふれあいサロン」を運営し、高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けられるように、支援策を検討します。

●活動期間 平成25年4月～平成26年3月

【地区版計画推進分科会のみ平成25年4月から平成27年3月までの2年間】

●人数 各分科会ともに15名程度

【地区版計画推進分科会のみ30名程度(無作為抽出※を含む)】

●お申し込み 住所、氏名、電話番号(連絡先)、在住・在学・在勤等の別、希望分科会を書いて、郵送、持参またはファックスで3月29日(金)までにお申し込みください。

※無作為抽出によるご案内(地区版計画推進分科会のみ)

これまで以上に参加するきっかけが少ない方にも参加していただく機会を設けるため、住民基本台帳から無作為で選んだ赤坂・青山地区在住の20歳以上の皆さんに、個別に地区版計画推進分科会の参加者募集のお知らせを発送しています。参加を希望される方は、必要事項を記入のうえ、ご応募ください。

●お問い合わせ／赤坂地区総合支所 協働推進課 地区政策担当 電話:03-5413-7013 FAX:03-5413-2019

赤坂青山地域情報誌 第23号

編集：港区赤坂・青山地区タウンミーティング地域情報の発信・交流分科会 発行：港区赤坂地区総合支所協働推進課 発行部数：22,000部

この情報誌についてのご意見等ございましたら、ご一報ください。 赤坂地区総合支所協働推進課 電話：03-5413-7013 FAX：03-5413-2019

再生紙を使用しています

編集後記

赤坂・青山地域に住む編集委員自らが地域の魅力を発信する地域情報誌「MYタウン赤坂青山」。今年度は委員が大幅に増え、にぎやかな1年でした。これまでの活動を振り返ってひとこと。

●安達／色々な方と出会う、笑ひも苦勞もあり、そして常に読者に求めている内容が自問の1年でした。楽しかったです！感謝！ ●糸数／見所満載の赤坂青山。どうしても、あれもこれもお知らせしたくありません。取材にご協力いただいた皆様、委員の皆様へ感謝です。 ●内野／もう3年！赤坂青山それぞれの地域で、たくさんの方々と交流が生まれ、編集委員冥利につきました。 ●遠藤／今迄何気なく前を通り過ぎていた病院、施設、お寺…。取材を通し、地元の歴史と変遷、そして今を改めて掘り起こす機会を得ることができました。 ●川本／初めての編集会議、取材を通して赤坂・青山が大好きになりました。本日にあたりとうございしました。 ●鈴木／編集会議は「赤坂青山のここが好き」と素直に伝へる場所。失恋や転職時には、編集委員や取材先の方からの親身な励ましも。 ●園部／この情報誌が一人でも多くの人々の目に留まり、読まれ、そして「私も編集に参加してみようかな」と思っていただけなら最高です。 ●高木／身近なことへの「気づき」を伝える喜びと難しさを一挙に感じました。2年間編集に携わることができ感謝しています。 ●竹谷内／外国人から見た赤坂青山を担当しています。赤坂青山に在住もしくは在勤の外国人でインタビューを受けていただける方はご連絡ください。 ●戸栗／夕方6時半から赤坂支所の会議室でカンカンガクガク、MYタウンの編集会議もまたユニークな大人数の放談会でした。 ●馬場／充実した編集委員と誠実な取り組みが目立って1年。しかし、読面の「ま」とりの良さ」だけが目立ち、地域情報誌らしいぞろいや凸凹が欲しかった。 ●平山／本職もエディターをしておりますので、邪魔にならないようバックヤードで作業するよう心がけました。皆様のご好意に感謝です。 ●稲島／取材を通じて未知の分野を知り、たくさんの方と出会えたことに感謝します。 ●宮内／特集「寺」の取材、5人の住職さんたちの話をそれぞれに楽しみました。 ●八木／赤坂に移り住み3年。まだまだ新参者ですが、取材や編集会議を通じ、赤坂青山エリアの今と昔を知る1年でした。 ●吉田／鹿島のビル、赤坂プリンスのビル、だるま落としの用法で1階ずつ小さくなっていく解体は都心ならではの風景です。そろそろご老体は消えて行きます。

大人の放課後

学ぶひと、走るひと 見守るひと

仕事や家事が終わったあとの過ごし方は人それぞれ。家に帰ってのんびりするのでもいいですが、春は新しいことを始めるのにとってもいい季節。お稽古ごとを始めるともよし、伝統文化に触れるのもよし、都会の真ん中を走るのもよし、はたまたボランティアにいそしむのもよし。赤坂青山らしい大人の放課後活動をぜひ見つけてみてください。

走るひと

【ナイトラン体験記】
都会を走るのに憧れるけれど、一人では恥ずかしい。週末にゴルフやテニスをする程度で運動不足……。そんな編集委員の女性4名が、「北青山ランニングクラブ」の「木曜ナイトラン」に取材参加しました。
夜7時、表参道の清水湯前に集合。まずは代表の今井寿美子さんにナイトランのオーナーをインタビューします。「先頭をコーチが走りますので安心してついていってください。夜は足下が見えにくいので、ゆっくり走ります。赤信号では止まり、人や自転車が多いところは歩くことも。肩の力を抜いて、おしゃべりしながら楽しく走りましょう!。ニット帽とビビンのウェアがおしゃれな今井さんに、にこやかに励まされて、いざスタートです。
今日のコースは「港区探訪キラカコース」。表参道から外苑前までの青山通りは人通りが多く、最後尾の副コーチから「自転車がきます。左によけて!」としばしば声がかかります。外苑前からは歩道が整備されて走りやすい分、少しスピードアップ。だんだん緊張感もほぐれ、編集委員同士「もうすぐホグダです!」案外走れるものですね〜と声をかけ合います。週2回(木曜夜と土曜午前中)のトレーニングでは、目的に合わせてコーチが伴走します。
<http://www.ksae.co.jp/kr.club/>



ホノルルマラソン、東京マラソンの経験もある今井さんにインタビュー

学ぶひと

【港区国際交流協会】
一般財団法人港区国際交流協会は、地下鉄の青山一丁目駅から徒歩5分のところにあります。この協会では、日本語、英語、中国語、スペイン語の各講座を設けています。今回は毎週金曜日の午後12時から開催されているスペイン語上級講座を取材させていただきました。
授業はスペイン語のみで行われ、生徒さんは和気あいあいと学んでいました。女性講師のマルタ・トルビジョ先生はコロンビア出身で、日本には22年間滞在されているそうです。コロンビアではソフトウェアを開発する日本企業に勤め、エンジニアとして来日後、転職しスペイン語講師となったそうです。先生は、「スペイン語の会話を磨いて、ぜひスペイン語圏の国々へ旅行してほしい。」とおっしゃっていました。
それぞれの生徒さんにスペイン語の魅力を聞いたところ、「世界には約25か国4億人以上の人々がスペイン語を話しているので、スペイン語を学べば多くの人とつながる。スペイン語圏の文化をもっと知



トルビジョ先生(右から2番目)と生徒のみなさん

りたい。」[数十年前に外国人を雇用するお仕事をしていて、たまたまメキシコ人と知り合う機会があり、色々メキシコ文化について教えてもらい、スペイン語に興味を持った。]「大学時代スペイン語を少し学んでいたが、しばらくブランクがあり、昨年から久しぶりに再チャレンジしている。みなさん向学心があるのでこの講座はとても刺激になる。」などそれぞれの想いをもって受講されていました。
●お問い合わせ: 一般財団法人 港区国際交流協会
電話 03-6440-0233
北青山1-6-3 都営北青山一丁目アパート3号棟 地下1階
夜のDVDシアター 赤坂図書館
仕事が終わってほっと一息していただきたいと、毎月、懐かしい映画を選んで上映しています。また、港区に本社のある企業の講演会等、図書館としての企画もあります。4月からはクラシックコンサートのDVDを上映する予定です。詳しくはお問い合わせください。
【次回の上映】
3/29(金)夜6:30〜「感動の世界遺産ポラード」3F多目的室
●お問い合わせ: 赤坂図書館 電話 03-3408-5090
南青山1-3-3 青山一丁目タワー3階
<http://www.lib.city.minato.tokyo.jp/j/akasaka.cgi>



(左)映像担当の石川さん (右)森下館長

【赤坂区民センター】
今回の取材は、1月12日(土)午後2時から講座開始に先行して午後1時20分から赤坂区民センター、ゴスペル講座担当の宮川さんにまずお話をうかがいました。
赤坂区民センターで実施している養成講座シリーズは今年度4回目となり、1回目は弦楽器(バイオリン、チェロ等)、2回目はリコーダー、3回目はボイストレーニング、そして今年度がゴスペル。始めの2回はウィークデーの夜、去年と今年は週末の午後開催しているとのこと。
時間になると、講師グレッグ・ハーディンジさん、ボイストレーナーと通訳の二役をこなすAKさんが到着し、練習が始まります。グレッグさん、開始早々パワー全開。歌いながら、動き回りながらの熱い指導で、受講生をゴスペルの世界へ引き込んでいきます。しばらくして受講生を見渡すと、その手元に楽譜が無い! 全ての曲の楽譜を配布すると資料がかなり多くなるため、歌詞だけの資料を配布しているそうです。
今回のゴスペル講座も人気が高く、抽選で選ばれた受講生は、月2回の大人の時間を楽しみ、2月23日、赤坂区民ホールでのパフォーマンスで今までの練習の成果を披露しました。
●お問い合わせ: 赤坂区民センター 電話 03-5413-2711
赤坂4-18-13 赤坂コミュニティがらざ内
<http://kissport.or.jp/>
※ゴスペル講座は、平成25年(2013)2月をもって終了しました。



赤坂区民ホールでの発表会の様子

伝統を学ぶ 豊川稲荷東京別院 東京・赤坂豊川文化会館

豊川稲荷境内にある文化会館で40年以上続く文化教室では、日本文化のお稽古ごとが学べます。
季節の花に向かい合い、広い板の間で、ゆったりと過ごすひととき。火曜日の「いけばな」は、ライフスタイルの変化に合わせ、午後2時から夜8時の間で自由な時間のお稽古ができます。
上の階では、午前中から夕方、爪弾く三味線の音にのせて「小唄」が聞こえています。お稽古の順番待ちの間も、そこは、チンドンジャンの小唄の粋な世界。そして「小唄」はもとより、三味線の個人レッスンも受けることができます。
他の曜日には、書道、茶道、舞踊、香道、義太夫、箏の教室が開かれています。大人の放課後に、日本の伝統文化を体験してみませんか。
●お問い合わせ: 豊川稲荷東京別院 電話 03-3408-3414
元赤坂1-4-7



見守るひと

赤坂通りまちづくりの会

毎月第1水曜日の夜7時前。赤坂通りの防災倉庫前に、港区赤坂通りまちづくりの会の方たちが、お揃いのジャンパーを着て集まっています。清掃用具を持ち、防災倉庫前から山王下、国際ビル前、五丁目交番向かい側、赤坂小学校前交差点、五丁目交番、出発地の倉庫前まで、道路のごみ拾い付け、路上に張り出している看板を店舗側敷地内に入れるお願いなどをしてまわります。
毎回10名ほどで約1時間くらいの作業です。この定期的な清掃以外に、赤坂通りにお花を植える、裏の通りをきれいにする企画など、緑豊かで人に優しく、美しく魅力的な来る街、「花咲か赤坂」をコンセプトに活動をしています。皆さんの温かな気持ちで赤坂に素敵な花を咲かせてみませんか。
●お問い合わせ: 赤坂通りまちづくりの会・事務局
電話 03-3888-1668
<http://www.lib.city.minato.tokyo.jp/j/akasaka.cgi>



あかね ばやし 赤坂茜囃子

お祭りのお囃子には心躍る想いになります。現在、港区には9つのお囃子連があり、いずれも地域のお祭りとともに伝えられています。これらは区内に広く分布し、かつて区域が江戸城のお蔭元であったことを彷彿とさせます。
赤坂の茜囃子は、昭和24年(1949)以来、数十人の人たちの努力によって、63年の歴史を刻んで綿々と続いてきました。地域の変化により、後継者不足や練習時間・場所の確保などの問題を抱えつつも、現在は赤坂中ノ町・新四町会の応援のもと、30余名の小・中学生が月1回、赤坂いさききプラザで練習を続けています。
お囃子を通して、子どもたちと関わり、見守ってあげる、昔のような人情味のある、安心して住める町になるよう、町会をあげて努力しておられます。大人の参加もOKですので、興味がある方は気軽に参加してください。
●お問い合わせ: 世話人・深沢さん 電話 03-3583-4725



「ピーヒャラドン、ピーヒャラトントン」

本気で学ぶ 国際医療福祉大学大学院

青山一丁目駅隣接の国際医療福祉大学大学院では、積極的に社会人にも講義を開放しています。医療福祉関係の公開講座「乃木坂スクールin青山」の受講をきっかけに、大学院に入学される方も多くいます。学外の著名人も講師として多く登場され、安倍総理(当時は、元総理大臣)を講師としてお招きして話題にもなりました。身近でありながら日々進歩し続ける医療福祉の世界を、あなたもぜひ覗いてみてください。
●お問い合わせ: 電話 03-6406-8621
南青山1-3-3 青山一丁目タワー4・5階
<http://www.uhw.ac.jp/daigakuin/nogizaka/>



なごやかな講義風景
青山一丁目タワー4・5階

京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス「東京芸術学舎」

外苑の一角にある京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパスでは、徳山祥直理事長の「藝術立国—平和を希求する大学」の「日本を芸術で再生させたい」という熱意で、東京芸術学舎をはじめとする公開講座が開講されています。大学教育の関口を広げ、たくさんの方に芸術に親しんでいただきたいと、講師と展覧会に出かけたり、日本文化を体験するなど、多くの講座が企画されています。緑豊かな外苑の環境で、芸術に触れてみませんか。
●お問い合わせ: 電話 0120-530-920
北青山1-7-15 外苑キャンパス
<http://gakusha.jp/>



企画課 山川さん

コラム 生の音楽と食事を楽しむ 「大人の放課後」

アフターファイブの楽しみ方の一つが「音楽」。都心にあって、しかも世界に冠たるアーティストの奏でる音楽を聴きながら、旨い料理を食し、風味豊かな酒やドリンクを満喫する—それは極上の「大人の放課後」の過ごし方といえます。
■ブルーノート東京 (南青山6-3-16 ライカビル)
「ブルーノート東京」は、ニューヨークを本部とするジャズの名門「Blue Note NY」の姉妹店。昭和63年(1988)にオープンし、満25周年を迎えます。海外出張が多かったオーナーが現地で目にしたのは、まさに「大人の放課後」の過ごし方だったそうです。職場や役目から開放された人たちが、おおらかに音楽や食事を楽しみながら語らい、日常から離れてくつろげる場所が日本にも必要だと考えました。そうして、人混みや繁華街、喧噪から離れ、しかも静かで落ち着いた環境と、どこか奥行き深い由緒ある場所として、この青山の地を選びました。もっと大人に音楽を楽しんでほしい、そんな想いが込められているのです。
●お問い合わせ: ブルーノート東京 電話 03-5485-0088
<http://www.bluenote.co.jp/>
■ビルボードライブ東京 (赤坂9-7-4 東京ミッドタウンガーデンテラス4F)
世界で最も信頼されているとされている音楽チャート「Billboard」を冠するのが「ビルボードライブ東京」。平成19年(2007)、「すべての夜を音楽という名の伝説に変える」空間として誕生しました。ジャズを含めた幅広いジャンルの音楽ライフスタイルを哲学とし、「ファンクの殿堂」としても広く認知されているようです。世界の文化と芸術が行き交う都心にあって、名だたるミュージシャンのリズムに生で酔いしれる—音楽の楽しみ方に変化しつつある現代において、「大人の放課後」を満喫できる大人たちのオアシスがここにあります。
●お問い合わせ: ビルボードライブ東京 電話 03-3405-1133
<http://www.billboard-live.com/>



※桜を見られる方は、近所に迷惑をかけないよう注意してください。